

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	大津市家庭教育支援チーム (呼称:逢坂 Smile 家庭教育支援チーム)
②活動拠点	逢坂公民館・マンション内パーティールーム・レストランカレンダー
③活動範囲	逢坂小学校区
④組織体制	20 人 身近な子育て経験者、元教員、保育士、地域の保健師、助産師、看護師、歯科医、歯科衛生士、社会教育士、保護司、更生女性会員、健康推進員
⑤活動開始年度	2020 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 殿城 弘子 (TEL)090-1899-2969 (E-mail)mimosa7.hiro@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒保護者等への学びの場の提供 ☒保護者等への地域の居場所づくり ☒アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒乳幼児 ☒小学生(低学年) ☒小学生(中学年) ☒小学生(高学年) ☐中学生 ☐高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ①家庭教育相談日の設定 ・開催日は毎月第3土曜日で、若い保護者の子育てに関する相談。 ②読書活動の推進 ・毎月第3土曜日に公民館事業とコラボして、「おうちで読書」の啓発や本の紹介や読み聞かせ会を開催。 ③豊かな経験をする居場所づくり ・子ども食堂の活動と連携しながら、毎月1回の定期事業の実施。(文化・芸術・スポーツ活動や朝活動の奨励) ④訪問型家庭教育支援(アウトリーチ型) ・プライバシーや守秘義務の関係で可能な範囲で行う。地域の小中学校と連携を図る。 ⑤地域の活動への参加 ・ラジオ体操や朝ごはん提供の活動に参加。 家庭教育は全ての教育の出発点であるという認識のもと、子育て家庭を中心にした家庭教育支援チームを立ち上げて、実践している。また、子ども食堂の活動と連携して、「食」を通じた地域の子どもと大人とが顔見知りになり、さまざまな世代がつながり、困っている人を放っておかない関係をめざし、子どもたちが「子ども時代を幸せに生きる大切さ」を実感・体得できることをめざして、取り組んでいる。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	①子育てに悩みや不安を抱えている保護者へ学びの場を提供することができた。 ②地域における居場所づくりと様々な経験の場づくりができた。 ③家庭教育に関する学習の機会や情報の提供ができた。 家庭教育支援活動は、地域の幼児教育支援につながり、児童の健全育成につながっている。 また、家庭教育支援活動は、子育てに悩みや不安を抱えている保護者への学びの場の提供も大切であると考え、地域における居場所づくりに力を入れている。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☐ 文部科学省補助事業(事業名:) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☒ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()